

NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

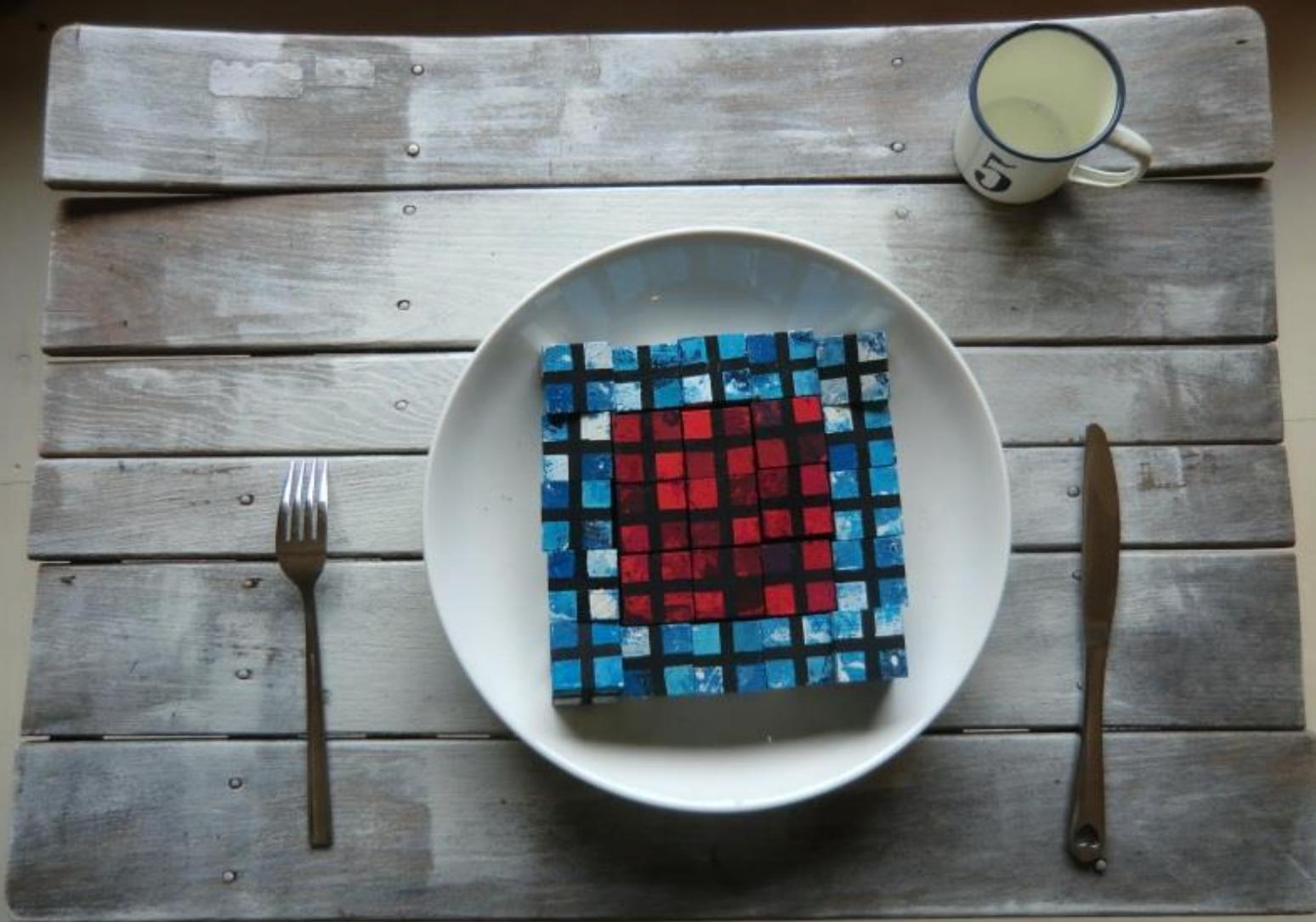
ニュースレター アイデア

2016

9月号

つながり×ひろがる

いちのせき市民活動センター



©TEPPEI KATO

- | | | |
|---|----------------|--------------------|
| 2 | 二言三言 | シニア活動と地域づくり |
| 4 | 団体紹介 | ゲイビマンプロジェクト(東山) |
| 5 | 地域紹介 | 山目 末広二区(一関) |
| 6 | 企業紹介 | 千厩まちづくり株式会社(千厩) |
| 7 | センターの〇〇 | 行ってみっぺす! 市内のミュージアム |

シニア活動と地域づくり

対談者 一関市シニア活動プラザ 所長補佐兼相談員 佐藤公基さん^{きみもと}
 聞き手 いちのせき市民活動センター センター長 小野寺浩樹

シニアの社会貢献を考える

【小野寺】まずはシニア活動プラザさんのあゆみについてお聞きしていきたいと思いますが、はじめに設置の経緯について教えてください。

【佐藤】シニア活動プラザは、60歳前後の退職者の社会貢献活動を応援するというで平成25年に設置されました。団塊の世代と呼ばれる方々が現役を終え、地域で何もしていない方が増えてきた状況の中、第二の人生をどのように充実したものにするか、その支援拠点としてつくられました。

【小野寺】では、3年間やってみての率直な感想をお聞かせください。



一関市シニア活動プラザ
佐藤 公基さん

【佐藤】実際、「皆で何かやろう！」と旗を上げて、「社会貢献」という言葉の敷居が高いせいか、講座やセミナーにはあまり人が集まりません。今までずっとやってきた仕事を辞めてホッとしたのに、またムチで叩かれるのかと言う方もいますし、それよりも自分の生活を豊かにしたり今までできなかったことに挑戦したいという方が多いようです。

【小野寺】現役時代は、自分の家族も支え会社も支え、尚且つ地域を支えてきたので、もうそろそろいいかなという気持ちはあるんでしょうね。それは少なからず理解できるかなと思います。

【佐藤】一関では私のように地方公務員を退職すると

地域の役を頼まれる方もいますので、そういう背景もあるんですよ。社会貢献というのは何も大きいことだけじゃなくて、年をとっても健康であれば病院にも介護施設にも行かず、公的税金を使わないということなので、それでもう社会貢献になると思います。なので、最近では不健康にならないための講座を開いたりもしています。去年からは「健康麻雀」というのをやっていて、日頃外出が少ない方や女性からも「やりたい」などの声をいただき、人気の講座になっています。将来的にはこのほかにも色々なものを仕掛けていきたいと思っています。



健康麻雀を楽しむ皆さん

【小野寺】新しいコミュニティをつくるのは集まるきっかけの第一歩ですね。今まで会社や地域との付き合いしかなかったところから、自分の趣味や興味関心のあることで集まり会話ができて、笑顔になれば元気になるし、麻雀をすることで手先を動かすので心身共に健康な状態をつくるということですね。

【佐藤】体験の中で人と会って「ありがとう」「今日会えてよかったね」「楽しかったね」と言われれば嬉しくなって気分が高揚するし、それが精神的によくて健康寿命の増加にもつながればいいかなと。

よく踊りや歌の発表会では、普段腰が曲がっているおばあちゃんでも、舞台上がってスポットライトを浴びると、腰がシャンと伸びるんだよね。出番が終わ

って舞台から降りるとまた腰が曲がるんだけど（笑）ああいう時の高揚感が大事なのかなと思うし、そういう体験を意図的につくってあげればと思います。

【小野寺】心身共に「心」は、きっとそういう部分なんですね。

【佐藤】あとは、好きなことで集まった方々を隣同士でつなげてその場をコーディネートする方や、講座で知ったことを周りに伝えたり、地域に持ち帰って活用してもらうサポーターのような方を増やしていきたいですね。

【小野寺】素晴らしいですね！どちらかというと個人のやりたいことを引き出していくのが生涯学習の視点で、コーディネーターとか横軸の人、サポーターを育成していくのは社会教育の視点になっていくと思うんですが、生涯学習の側面も持ちながら社会教育を支援していくところは強みですよ。



「同世代」という安心感が壁をなくす

【小野寺】今地域では、「世代間・人との交流が薄くなってきている」とか「活動に出てこない」という課題があるんですが、人の心理としていざ交わろうと思うと一歩引くような抵抗感があると思います。その一つのキーワードとして「同世代」があるんですよ。同世代が集まるのであれば、共通の話題もあつたり過ごしてきた背景が似てるので「あの時こうだったね」なんて分かり合える安心感があると思うんですよ。その集まりの場をつくって本音を引き出すには、我々20～50代のセンタースタッフだと年代の壁や抵抗感を少なからずもたれると思うんです。

【佐藤】確かに違いうらうね。

【小野寺】なので、シニア活動プラザさんが各地域に出張して、活動に出てこない60代～70代の人たちの対策を考えるワークショップを一緒に見ていただくと地域としてはありがたいんじゃないかと思うんですよ。

昔の青年会をもう一度復活させたい

【小野寺】今の70～80代の方は、人が集まって「何しようか」「あれしようか」という活動が賑やかだった時代を経験している方達なので、「あの時こうだったから、今もう一回やってみようか！」という“やれる気づき”をつくって、その部分で地域との連携がとれていくとおもしろくなると思います。

【佐藤】昔は青年会があって、活動にしても一つのものに対して行うのではなく網羅的な活動をしていたからね。火が付けば変わってくるかもしれないね。

【小野寺】シニア活動プラザさんに、その火付け役になってほしいんですよ。実は今、「青年会OB会」みたいな感じの活動を復活させたいって思いがあるんです。地域から要望やリクエストがあれば、青年会経験者が「昔の青年会はこうだった」と語つて用意して、「もう一度青年会を復活させたい」なんて話が出ればそのOB会をつくって、動きが活発になってきたところで区長さんや自治会長さんが協議会とつないでくれると、一気に地域の活動の幅が広がるんじゃないかと期待しているんです。その一端をシニア活動プラザさんで担っていただけるとおもしろいなって。

【佐藤】老人クラブじゃなくて、青年会OB会みたいな名前ですね。いいかもしれない。そんな組織ができれば、今私たちがやっている健康麻雀やスマホ教室が地域版でできるようになるかもね。スマホを使いこなせば、地域の情報交換が活発になったり、活動がぐっと広がるよね。

【小野寺】どの地域にも、意識の高い方はいますから。老人クラブより自由度が高い青年会OB会をつくるのは、ある種の起爆剤になると思います。この先30年くらいは高齢化社会が続くと思いますが、その時代を支えていくにはやはり青年会OB会とか老人クラブの力が大きいですよ。もし地域から「青年会OB会をつくりたいんだけど、同世代として一緒に考えてくれますか？」なんてリクエストがあれば、ご協力していただけますか？

【佐藤】それはもちろん！それがシニア活動プラザの役割の一つだと思いますので、リクエストがあれば私たちも積極的に関わっていきたく思います。

基本情報

【一関市シニア活動プラザ】

住所：〒021-0881

一関市大町4-29 なのはなプラザ3F

電話：0191-31-3118

ホームページ：

<http://www.ichinoseki-shakyo.com/senior/>

団体 紹介



6人のご当地ヒーロー
「六魂戦隊ゲイビマン」

～基本情報～

- ◆代 表：菊地哲也さん
- ◆連絡先：〒029-0302
一関市東山町長坂字羽根堀 119-10
- ◆電 話：0191-47-2369
- ◆F A X：0191-47-2570
(※いずれも東山タイヤ工業所
代表菊地哲也さん宛)

東山を盛り上げる6つの魂

六魂戦隊ゲイビマン

東山の景勝猯鼻溪の名を冠する戦隊ヒーロー「六魂戦隊ゲイビマン」。前身は長坂保育園の父親有志が、運動会の昼時間にショーをやって盛り上げようということとで結成された「のんべえ戦隊オジレンジャー」です。

運動会といえばひたすら撮影係というのが父親の役割でしたが、「カメラを捨てて記録より記憶に残そう」という発想でした。ショーは評判を呼び、他の保育園などから「うちにも来てほしい」という声がかかるようになり活動機会が広がり始めます。平成20年には名称を「六魂戦隊ゲイビマン」に変え、装いも新たにスタート。今回はそんなゲイビマンについてゲイビマンプロジェクト代表の菊地哲也さんにお話を伺いました。

思いが詰まったディテール

「『やる側が楽しもう』がゲイビマンのモットー」と語る菊地さん。背景にあるのは自分たちが楽しくないと見ている側も楽しくないという思い。その思いは衣装やシナリオ製作、キャラクター設定にも細かいディテールを作り込むという形として表れています。

例えば、マスクのデザインは6人すべての表情を変えること（白黒になってもマスクだけで誰かをわかるように）で個性を出しており、マスク製作も試行錯誤を重ねながら手作りしました。シナリオは、訪問先やイベント内容に合わせてカスタマイズし、必要に応じてアフレコを準備していくこともあるとか。もちろん音響も自分たちで準備します。

「6人それぞれが異なる魂（ソウル）と特殊技能を持っている」というキャラクター設定も「スーパーコンピューター並みの分析能力を持つブルーが唯一計算できないのは人の心と未来」「ピンクの素顔はミス東山」「レッドは猯鼻溪で船頭をしていてげいび追分の歌

唱力はピカイチ」など、地元を意識しながら硬軟巧みに工夫されていて「素人なりにしっかり作っていきたい」という菊地さんの言葉を裏付けています。

マスクの下の苦悩と希望

歴代メンバーは約50名で、これまで延べ200回以上のイベントに出演してきたゲイビマンプロジェクトですが、仕事との両立という悩みも抱えています。

もともとは保育園に子どもを通わせている父親たちが中心ということで、それぞれが働き盛りの年齢。特に創設時のメンバーは年齢を重ね仕事上の立場も重く多忙になり、ゲイビマンの依頼に応えられないことも増えています。新たに参加するメンバーもいるものの慢性的な人手不足というのが現状で、ピーク時には2年間で100回を超えた出演も今では年に5、6回程度に。「ゲイビマン1本でいければもっと出来るとも思うがそれぞれ仕事を抱えていてそうもいかない」と語る菊地さんは、よいものという思いと、人手と時間不足の現実との間で板挟みになっています。

それでも菊地さんは「逆にイベントに行ったら子どもたちに励まされることも多いし、訪問先で人の繋がりができることもある。ゲイビマンを知ってもらうことで猯鼻溪、東山を知ってもらい、訪れてもらうきっかけになればという思いもある。地域を盛り上げる為にも『一人一人の力はちっぽけだけどみんなの勇気が集まれば何でもできる』というゲイビマンの精神で、自分たちの出来る範囲でやっていきたい」と、前を向きます。その姿はまさに「^{ソウル}勇気・愛情・友情・元気・忍耐・正義」の6つの魂で戦う「六魂戦隊ゲイビマン」そのもの。そこにはマスクを脱いだ等身大のヒーローの熱い思いがありました。



市民フェスタにも参加

地域
紹介

区長 千葉昭彦さん

～基本情報～

- ◆区長：千葉昭彦さん
- ◆220 世帯 514 人が暮らす末広二区は、山目小学校が建つ幸町と磐井川の間にある面積約 11 万㎡の民区で、組織は総務部・火防衛生部・文化体育部の 3 つで構成しています。

各人・各団体が連携し合う民区に

全ての活動は「3つの理想」に通ずる

「人命尊重最優先に火災、犯罪、交通事故のない健康であかるい末広二区を皆で育てよう」というスローガンは末広二区が行う全活動の基であり、「住んでみたい町・住んでみたくなる町・住んでよかった町」の実現に通じています。

末広二区は、昭和 43 年に人口・世帯数の増加により末広民区を 2 つに分区してできた民区で、民区内にある 4 つの事業所以外は全て住宅という地区です。現在その民区の 5 代目の区長を務める千葉昭彦さんは一関地区出身で、地元の推薦を受け平成 19 年に区長に就任しました。「住民の方々はいつも協力的に動いてくれるし、力を合わせてやってくれるのでとても助かっています」と地域の方へ感謝する千葉さん。民区の年間事業は各部会が主宰しますが、内容により老人クラブ「末広会」や交通安全末広二区分会、末広二区 P T A、交通安全母の会、末広二区自主防災会といった団体から協力をいただいたり、近隣の民区と合同で事業を実施するなど横の連携を大切にしています。

住民・団体・民区の連携のあり方

地域団体や他の民区と連携して行っていることとして、活動拠点である「みどり公民館」の管理運営があります。元々この公民館は近隣にある複数の民区で管理運営をしていましたが、その後独自の集会所を持った民区は役を外れ、今は末広一・二と十二神民区が共同で管理。みどり公民館は山目小学校や学童「はしわクラブ」の側にあり、児童公園の敷地内にあるため子ども達の憩いの場にもなっています。

また、みどり公民館で毎年 6 月に開催している防災・避難訓練は、末広一・二、幸、十二神民区で合同開催しており、毎年約 100 名の参加があります。内で

救命訓練、外で消火訓練を演習。自主防災会の会長もしている千葉さんは、3. 11 を振り返り「緊急時に力を発揮するのは住民同士の協力。それぞれができる範囲で支援し合い災害を乗り越えました」と語ります。

上記のほか、9 月に開催している運動会は年齢・運動能力を気にせず皆が楽しめるようにとレクリエーション的要素を増やし、競技での走る・歩くは自由、ケガをしないことを第一に勝敗に拘らず全員が「楽しかった」と思える運動会を目指しています。

自ら考え動く！という意識をもって

活動する時は過去の記録や実績にとらわれず、基本的には自ら考え動き、必要に応じてその都度関係者と相談しながら進めるのが方針。「今までの活動に全て習うのではなく、その時の状況を見てよいと思う進め方や行動を考えることが大切だと思います」と千葉さん。

また、活動の変化について尋ねると、「人には『物事に対する習慣』があり、突然物事を変えることは困難なものです。物事を変える時は少しずつ少しずつ、その都度最善の方法を考えながらゆっくり動くのがよいのです」と教わりました。その言葉には、長年地域を見て感じてきたことがあるからこそその重みを感じられました。



毎年 12 月 23 日（天皇誕生日）に行う小学生・年配の方との世代間交流は、ミニ門松づくりを楽しんでいます。

企業紹介



代表取締役社長
北田 文人さん

～基本情報～

- ◆代表取締役社長:北田 文人^{ふみと}さん
- ◆連絡先:千029-0803
一関市千厩町千厩字北方 174
- ◆電話:0191-53-2070
- ◆FAX:0191-53-2070
- ◆URL:<http://www.sakenokura.com>

街の風情を活かし、住民みんなで参加する企業体

なんとかしたい！思いをカタチにする

一関市千厩町には、国登録有形文化財である横屋酒造の造り蔵や旧佐藤家住宅を中心に、大正ロマン漂う商店街が連なり、まるでタイムスリップしたかのような雰囲気味わえます。4月から10月の第2土曜日には「せんまや夜市」が開催され、レトロな街並みに人々が集まりにぎわいます。

ここに千厩まちづくり株式会社が設立されたのは平成17年4月のこと。新一関市誕生の年です。

設立の背景は、「地域が廃れることへの危機感。この一言につきます」と語るの代表取締役社長の北田文人さんです。時期を同じくして、国登録有形文化財である横屋酒造が倒産し、益々地域の活性が危ぶまれ、「なんとかしたい！」と立ち上がったのは地域を思う住民たちでした。この思いをカタチにするには、旧千厩町役場や千厩商工会との連携が不可欠と考え、幾度とない協議を経て「千厩町中心市街地活性化基本計画」を策定。住民への説明の後、市の第三セクターでタウンマネジメント機構(TMO)の千厩まちづくり株式会社が設立されたのです。

歴史と文化にアイデアをプラス

同社は、行政・商工会・各種団体・地域商工業者・地域住民・趣旨賛同者からなる企業で、地域の特性を生かした商業活性化マネジメントの体制整備や歴史的文化的資源を活用した観光拠点の形成、高齢者等のニーズに応じた商店街機能の再構築など5つの項目を目標とし実現に向けて日々運営しています。一関市の管理受託事業である「せんまや街角資料館」「千厩酒のくら交流施設」「せんまや馬事資料館」のなかでも、事務所でもある千厩酒のくら交流施設の活用では景観維持の他、消費者や観光客、地域住民にとって魅力的な

場になれるよう工夫がなされています。「主屋・西洋館は事務所兼売店として使用していますが、大変有名な洋風建築家が設計し、千厩町民有志の蔵サポーターの会の皆さんのおかげで昔のままの形でしっかり管理・清掃されています。しかしながら、どれだけ地域の素晴らしい歴史的文化的建造物であっても、歴史だけではリピーターは来ません。そこに何かをプラスし日常的にこの交流館を活用していただけるような運営努力が必要」と語る北田さん。「建物の歴史や文化にも触れながらヨガやライブなど個々の楽しみ方を組み合わせ、できるだけ多くの方が千厩地域に来るきっかけを提供できれば」と続けます。

出会いはすべてチャンスに！

「せんまや夜市開催期間中、一番人が賑わうのは三軒茶屋のサンバチームが来た時」と語る北田さん。商店街をサンバの軽快なリズムとダンスで練り歩く姿は、非日常的で情熱的です。サンバチームが出演するきっかけとなったのは、東京都三軒茶屋で毎年行われる青空フェスタへの参加で、同社として毎年地域特産品を持ち込み「千厩地域をアピールしていく中で交流が生まれ実現した」と続けます。実際は企業設立前から青空市組合として21年間交流があり「人と人との心の交流、つながりを大切にしてきた結果」と北田さんは微笑みます。「どんな出会いも出来事も、何かしら地域に潤いを与えてくれるチャンスだと感じます。今後も様々な出会いを大切にしながら地域に潤いと活気を提供できる企業体でありたい」と最後に力強くコメントしてくださいました。



和室から眺める風情ある素敵な中庭

センターの ○○!

～施設の共通情報～

市内4つのミュージアム(博物館・展示施設)を特集します。

◆開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)

◆入館料 小学生・中学生 無料 / 高校生・大学生 200円 / 大人 300円
※団体割引等がございます。

※お得な年間共通入場券も販売しております。

◆休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日) 年末年始

※施設によって資料整理等のための休館日がございます。

「近くて遠い存在」になりがちですが、私たちが住む一関市には新しい発見や見たことのない物・事に出会える、魅力いっぱいのミュージアム(博物館・展示施設)があります。通常の展示の他、様々なテーマの体験や学びを得ることができます。暑い夏が和らぐ初秋の侯、ぜひ、ご友人やご家族と訪れてみてはいかがでしょうか？

東山 石と賢治のミュージアム

詩人で童話作家の宮沢賢治が晩年期に訪れるきっかけとなった旧東北砕石工場のある東山地域。賢治の活躍をわかりやすく展示している他、賢治さんも好きだった鉱物や化石なども数百点展示されており自然の神秘を間近で見学することができます。

展示棟「太陽と風の家」では、化石採集体験などのイベントも開催されています。



●〒029-0303

一関市東山町松川字滝ノ沢 149-1

●TEL: 0191-47-3655

●FAX: 0191-47-3944

大東 芦東山記念館

江戸時代、大東町渋民地区に生まれた日本の刑法思想の先駆者で、1738年から1761年までの幽閉生活中に、『無刑録』

という本を完成させた偉人です。刑法思想や幽閉など難しい言葉が並びますが、芦東山の生涯と業績を映像やグラフィックを使って分かりやすく展示紹介しています。

また、企画展を定期的に行き、親子で楽しめるワークショップなども体験できます。



●〒029-0521 一関市大東町渋民字伊勢堂 71-17

●TEL: 0191-75-3861

●FAX: 0191-75-3862

一関市博物館

巖美溪から北に約0.4kmに位置し、1階の広々とした吹き抜けのエントランスホールでは、博物館主催の体験学習など魅力的な催し物が定期的に開催され、2階の展示室では巖美溪遺跡の床下展示、一関地方の縄文、弥生の人々の暮らしや度重なる水害から懸命に立ち上がってきた現代までの通史展示があります。また、「舞草刀と刀剣」「玄沢と蘭学」「文彦と言海」「一関と和算」の4つのテーマ展示があり、その中で映像やパソコンゲームなどで、より身近に楽しみながら地域の歴史を学ぶことができます。

●〒021-0101 一関市巖美町沖野々215-1

●TEL: 0191-29-3180

●FAX: 0191-33-4006



藤沢 大籠キリシタン資料館

江戸時代のはじめ、藤沢町大籠地区は仙台藩の領内で、たたら製鉄を行う地として栄えていました。製鉄の技術指導のために備中国(岡山県)から来ていた千松大八郎・小八郎という兄弟がキリシタンであり、この地で布教を始めたのが歴史のはじまり。その後、キリスト教禁制が発令され、数年間で300人以上の信者が処刑されたと伝えられています。大籠キリシタン資料館(殉教公園)は、この悲しき背景やいかなる迫害にも屈せず、信仰の道を守り抜いた先人たちの歴史を語り継いでいます。

●〒029-3522 一関市藤沢町大籠右名沢 28-7

●TEL: 0191-62-2255

●FAX: 0191-62-2255



おしらせ

一関 まちづくりコーディネーター養成講座

地域づくり活動における基本的な考え方や進め方、知識を身につけて、まちづくりコーディネーターになろう！①まちづくりコーディネーター概論、②話し合いの仕方、③規約・事業計画と資金調達、④情報発信のススメの全4回講座です。

【期日】平成28年9月10日(土)、10月8日(土) 12月10日(土)、平成29年1月14日(土)
【場所】なのはなプラザ4階 共同会議室
【料金】2,000円(全4回分)
【問合せ】0191-26-6400(いちのせき市民活動センター)

川崎 第22回 北上川流域交流Eポート大会

「川との共生」を合言葉に、第22回北上川流域交流Eポート大会を開催します。1チーム10人によるボート競漕で、タイムトライアル方式のレースを2回行います。参加チームを応援して大会を盛り上げよう！※運営スタッフを随時募集しています。

【日時】平成28年9月11日(日)9時～16時
【場所】北上大橋付近の北上川
【問合せ】同実行委員会事務局
【電話】0191-36-5666

一関 まちの保健室

岩手県看護協会では、血圧やBMI測定、体や心に関する悩みを無料で聞き取るまちの保健室を毎月開催しています。保健師、助産師、看護師OBのスタッフが優しくお応えしますので、お気軽にご利用ください。

【日時】平成28年10月1日(土)13時30分～15時
【場所】いちのせき市民活動センター内
【料金】無料
【問合せ】いちのせき市民活動センター
【電話】0191-26-6400

一関 リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016いわて

「ひとりじゃない～明日へ語ろう・つながろう・続けっぺし～」を合言葉に、がん征圧・患者支援チャリティーイベントを行います。交代で夜通し公園やグラウンドを歩き続けることで、がん征圧への願いをあらたにし、絆を深め合います。

【日時】平成28年9月10日(土)12時～11日(日)12時
【場所】観自在王院跡(平泉町毛越寺 門前)
【参加料】チーム参加(お一人 500円) / サバイバー・大学生以下無料
【問合せ】0191-21-0554(一関病院内)

千厩 千厩きもの物語

みんなで着物を着て町を歩き、本町通りの魅力を再発見しよう！着付け舞鑑賞、集合写真撮影、乗合馬車運行、着物掘り出し市など着物を楽しむのにぴったりなメニューをご用意しています。10月4日までに下記問合せ先までお申し込みください。

【日時】平成28年10月8日(土)10時 開会
【場所】千厩酒のくら交流施設 集合
【参加料】800円 (集合写真、馬車乗車券、抹茶券付)
【問合せ】0191-52-2043(千厩着物虫干し会)

川崎 みんなの居場所づくりⅡ事業交流会 オープン講座

工房てんとう虫の皆と一緒に楽しく交流しよう！10月は一足早く、来年の干支「酉」をつくります。どなたでもご参加できますので、お気軽に遊びにきてください。参加お申込みは下記電話番号までお願いします。

【日時】平成28年10月12日(日)13時～14時
【場所】工房てんとう虫作業スペース
【料金】100円(材料費)
【問合せ】NPO法人アートで明るく生ごるかわさき
【電話】0191-43-4733

一関 お試し移住 in いちのせき

一関に移住を考えている方、一関の生活を丸ごと体験できるお試し移住をしてみませんか？厳美の棟貸切ゲストハウス「山笑亭」に滞在。農林業体験や市内の空き家情報をご用意しています。予約は下記電話番号まで。

【期間】2泊～7泊まで選べます。
【体験場所】一関市厳美町宇外谷地
【料金】体験料は下記まで問い合わせください。
【問合せ】いちのせきニューツーリズム協議会
【電話】0191-82-3111

一関 新規キャリアサポーター募集

キャリア教育支援として、これまで培ってこられた技能・技術(工学系のみならず広義で)などの仕事の体験や経験を、ボランティアで子どもたち(小・中・高校生)や若者に伝えるキャリアサポーターを募集します。活動できる日時や時間帯に合わせて活動でき、若者との交流や様々な職業の方との情報交換の場にもご活用いただけます。

【問合せ】ジョブカフェ一関
【電話】0191-26-3910

一関 いちのせき結婚活動サポートセンター会員募集

いちのせき結婚活動サポートセンターでは、講座やイベントを通して新しい人とのつながりをつくる異業種交流会を行い独身者の交流を支援します。会員登録は無料で、18歳以上の独身の方が対象です。ホームページまたは窓口で登録できます。お気軽にお問い合わせください。

【HP】<http://funspo.net/>
【住所】一関市大町4-29なのはなプラザ4F
【問合せ】いちのせき結婚活動サポートセンター
【電話】0191-43-2111

今月の表紙



千厩町で5月末に開催された加藤鉄平さんの個展「空と血と」の中の作品です。納屋や土蔵、牧草地等を使っただけの独創性溢れる世界に9日間で600人が来場。10月15日～23日には「千厩酒のくら交流施設」で次の個展が開催されます。ぜひその世界観を生でご覧ください。

Q & A あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q ワークショップとは付箋を使ってする会議のことですか？

A よく「付箋を使ってやる会議がワークショップでしょ？」と言う方がおりますが、付箋を使って行うのはワークショップの中の一つの手法で「KJ法」といいます。ワークショップとは参加型の会議のことであり、ワークショップ=付箋を使ってする会議ではありません。